

# 輝くいのち、共に生きぬく

校長 伊藤 芳博

新入生40名、転入生3名を迎え、全校児童生徒210名で平成31年度が始まりました。このたよりが発行されている頃には、令和の時代になっています。当校も創立40周年を迎え、新たに校訓「輝くいのち、共に生きぬく」を掲げました。210名の子どもたちの命と心が輝き、令和という新しい時代を、みんなで支え合いながら生き抜いていってほしいと切に願っています。



私は、校長として3年目、教員生活の最後の年となりました。高等学校29年間、特別支援学校9年間の勤務となりますが、定年の年になっても、子どもたちから手を握ってもらえる仕事ができるということに、この上ない幸せを感じています。

友達 恋人 妻の 子どもの 手を握る  
そんな時代ははるか記憶の彼方へと遠ざかり  
いつからか一人で拳を握りしめて  
自分の力でここまで来たつもりなのだが  
突然手を握られたのだ  
入学式から数日後  
在校生や新入生でごったがえす小中学部玄関を  
通り抜けようとしたそのとき  
小さな手がぼくの手をつかんだ 驚きとともに  
不意によみがえってくる感触の記憶  
手の先には知らない小さな手がつながっていた  
人混みの中で先生を見失ってしまったのだろう  
しっかりとその手を握り返しながら  
大丈夫だよ と心の中で声をかける  
そうだ ぼくも自分を見失いそうになったとき  
こういう小さな手大きな手に支えられてきた  
大丈夫だよ 先生  
ぼくたちわたしたちがいるから と  
輝くいのちと共に生きてきた幸せを握りしめる

<本校 PTA 会報「もえぎ」校長挨拶より 6/14 発行予定>